

## 【公民】

【1】次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

現代の社会では、社会の変化や科学技術の発達などにより、従来の人権の枠組みでは捉え切れない課題が生じている。課題への対応として、日本国憲法で明示されているわけではないものの、社会的重要性の高い権利を総称して「新しい人権」と呼んでいる。

「新しい人権」のひとつに広く「環境権」と呼ばれるものがある。例えば、あなたが街中を歩いている際に家屋の屋根が傾斜しているのを見たことがないだろうか。これは隣地への日差しを確保するためのものであり、特に「( A ) 権」と呼ばれる。また、工場から排出されるガス等で空が曇っている写真を教科書で見たことがあると思うが、現在はそのようなことはないだろう。①高度経済成長期の日本では②公害問題が一層深刻となり、③一連の公害訴訟を通して人体への影響があったことが認められた。このような被害を繰り返さないために、現在ではさまざまな規制がなされている。

「新しい人権」は科学技術の発達によっても変化してきた。例えば、④情報通信技術の発展により私たちは他者の情報を得る機会や方法が拡大している。そのような情報として芸能人などの私生活が目されることがあるが、一般人と同様に「( B ) の権利」は守られる必要がある。2003年には「個人情報( C )法」が制定され、⑤個人情報 の適正な取り扱いが義務となっている。インターネットを活用する機会が増えたことで、私たちは容易に情報の発信者ともなることができるようになった。このような情報の取り扱いに注意を払う必要があるだろう。

一方で、憲法第21条の「表現の自由」に関連して、私たちは広く「知る権利」も有していると考えることができる。これに関連して、⑥国や地方公共団体に対して行政文書などの開示請求を行うことができる制度があり、国や地方公共団体に説明責任を果たすことを求めている。私たちはさまざまな権利を理解して行使していきたい。

問1 空欄Aに当てはまる語句として、正しいものを1つ選び記号で答えなさい。

あ：日差      い：日照      う：太陽      え：陽光

問2 空欄Bに当てはまる語句をカタカナで答えなさい。

問3 空欄Cに当てはまる語句として、正しいものを1つ選び記号で答えなさい。

あ：保護      い：管理      う：運用      え：守秘

問4 下線部①について、次の問いに答えなさい。

[1] 高度経済成長期に該当する時期として最も適当なものを1つ選び記号で答えなさい。

あ：1920年代      い：1940年代      う：1960年代      え：1980年代

[2] 高度経済成長期に国民所得倍増計画を提唱した内閣総理大臣は誰か。次から1つ選び記号で答えなさい。

あ：佐藤栄作      い：池田勇人      う：福田赳夫      え：田中角栄

[3] 高度経済成長期には国民の生活が豊かになり「三種の神器」と呼ばれる家庭電化製品が普及したが、これに当てはまらないものはどれか。次から1つ選び記号で答えなさい。

あ：冷蔵庫      い：洗濯機      う：白黒テレビ      え：ラジオ

問5 下線部②について、次の問いに答えなさい。

[1] 四大公害病の1つ新潟水俣病の発生地はどこか、次から1つ選び記号で答えなさい。

あ：信濃川      い：阿武隈川      う：神通川      え：阿賀野川

[2] 公害の防止のために1967年に制定された法律は何か、次から1つ選び記号で答えなさい。

あ：公害対策基本法      い：公害健康被害補償法      う：環境アセスメント法      え：環境基本法

[3] 主な公害を「典型七公害」と呼ぶが、次の中で当てはまらないものはどれか、次から1つ選び記号で答えなさい。

あ：水質汚濁      い：振動      う：悪臭      え：電波障害

問6 下線部③の裁判では、企業側に過失が認められなくても賠償義務を負う原則が明らかにされたが、これを何と呼ぶか。次から1つ選び記号で答えなさい。

あ：無過失賠償      い：無過失義務      う：無過失責任      え：無過失損害

問7 下線部④をアルファベット3字で何と呼ぶか。

問8 下線部⑤に関連して、2013年に国民ひとりひとりに番号をつけて社会保障や税に関する個人情報を一元的に管理する仕組みができたが、この番号を何と呼ぶか。カタカナ6字で答えなさい。

問9 下線部⑥を何と呼ぶか、次から1つ選び記号で答えなさい。

あ：情報公開制度      い：情報管理制度      う：情報請求制度      え：情報提供制度

【2】 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

かつてイギリスの政治家（ A ）は、地方自治を「民主主義の（ B ）」と呼び、民主主義の基礎との考えを示した。地方自治は地域の住民にとって民主主義を身近に感じることができるものであり、①私たちが住民として生活する地域に対して強い関心を持って参画することが大切となる。

地方自治において住民にはさまざまな権利が認められており、例えば首長の不当な行為などに対しては②解職請求を行うことができる。③解職請求に必要な署名数が集まった場合には、④住民投票に付されることになる。⑤住民投票の結果、過半数の賛成があれば首長は失職することになる。

他にも、⑥条例の制定や改廃を求めることもでき、民意が反映されやすいことは地方自治の特色と言えるだろう。

問1 空欄Aに当てはまる語句として、正しいものを1つ選び記号で答えなさい。

あ：トクヴィル      い：ブライス      う：ベンサム      え：ミル

問2 空欄Bに当てはまる語句を漢字2字で答えなさい。

問3 下線部①は地方自治の原則の1つであるが、何と呼ぶか。次から1つ選び記号で答えなさい。

あ：住民自治      い：市民自治      う：国民自治      え：地域自治

問4 下線部②、首長などに対する解職請求や、議会に対する解散請求を総称して何と呼ぶか。カタカナ4字で答えなさい。

問5 下線部③、解職請求に必要な署名数として正しいものを次から1つ選び記号で答えなさい。

あ：住民の50分の1以上      い：住民の3分の1以上  
う：有権者の50分の1以上      え：有権者の3分の1以上

問6 下線部④に関連して、住民投票の有権者に関する説明U・Vの正誤として適切な組合せを1つ  
選び記号あ～えで答えなさい。

U：住民投票の有権者は、国政選挙同様に日本国籍を有する者に限られている。

V：住民投票の有権者年齢は、国政選挙とは異なって18歳未満で認めている自治体もある。

あ〔U：正 V：正〕 い〔U：正 V：誤〕 う〔U：誤 V：正〕 え〔U：誤 V：誤〕

問7 下線部⑤、住民投票の結果に関する説明W・Xの正誤として適切な組合せを1つ選び記号あ～  
えで答えなさい。

W：住民投票の結果には法的拘束力があり、地方自治体は従う義務がある。

X：住民投票を実施した場合、地方自治体は投票結果を必ず公開する必要がある。

あ〔W：正 X：正〕 い〔W：正 X：誤〕 う〔W：誤 X：正〕 え〔W：誤 X：誤〕

問8 下線部⑥、条例の制定・改廃に関する説明Y・Zの正誤として適切な組合せを1つ選び記号あ～  
えで答えなさい。

Y：地方自治体が条例を制定・改廃するには国会での承認が必要となる。

Z：条例の制定・改廃を請求する権利を「イニシアティブ」と呼ぶ。

あ〔Y：正 Z：正〕 い〔Y：正 Z：誤〕 う〔Y：誤 Z：正〕 え〔Y：誤 Z：誤〕

[公民出題 以上]